

D03 深層インタラクション

アバターロボットによるモラルインタラクション技術の構築

概要

アバターロボットを利用したサービスは、将来、店員や警備員といった様々な場面での利用が期待されています。これらのサービスでは、人々の低モラルの行動を予防し、環境に安心感をもたらす役割を担っています。本発表では、アバターロボットを介して、環境に安心感をもたらす「モラルコンピューティング」に関する取り組みを紹介します。

特徴

- モラルコンピューティングの基礎知見解明に向け、「アバターロボットが訪問客のより良い振る舞いを引き出す技術」、および「アバターを操作するオペレータのより良い振る舞いを引き出す技術」の構築を進めています。
- 実店舗でVLMを活用しながら接客を行う店員アバターロボット、商業施設での案内ロボットといった、複数のフィールドで実証実験を進めています。
- 実証実験で得られた知見に基づき、モラルコンピューティングに必要な基礎知見解の解明を進めています。友好的なサービスに加えてモラルコンピューティングの能力を持つロボットデザインが、顧客や店員にとってポジティブに受け入れられることが明らかになってきました。

今後の展開

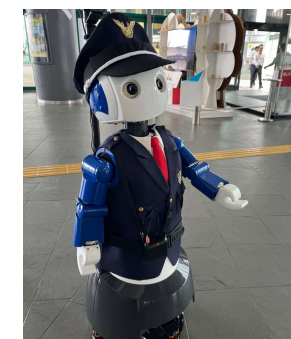
- 構築したアバターロボットサービスによる実証実験を複数のフィールドで繰り返し実施していく予定です。実証実験を通じて、人々のより良い振る舞いを引き出すためのモラルコンピューティング技術の解明を進めていきます。

テーマ「京都府と共に創るいのちの未来」との関連

- モラルコンピューティングの研究を進めることで、人々の良い振る舞いを引き出し、住みやすい社会を構築する技術構築へとつながります。その研究を利用して、「いのちの未来」へとつながる技術の構築を進めます。



接客を行う店員アバターロボット



道案内を行う警備員ロボット



実店舗(帽子屋)でのVLMを活用した接客